

## 日本学校教育学会 第35回大会の延期にあたって

日本学校教育学会員の皆さまにおかれましては、日々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年度実施される予定であった第35回研究大会は、岩手大学で実行委員会の事務局を仰せつかりました。これまで、大会の実行委員会を立ち上げるとともに、会場の予約やシンポジウムの企画そして、大会案内の発送準備等に取り組んでまいりました。しかし、昨年末に初めて罹患者が報告され、今年になって世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響で、8月上旬に開催予定であった研究大会を、中止にせざるを得ない状況となってしまいました。

岩手県では、奇跡的ともいえますが、現時点においてまだ発症者が確認されてはいません。しかし、17日に国から全国に向けて発出された緊急事態宣言により、盛岡市内の人出の減少とともに、街を歩き交う人々のほとんどがマスクを着用しているなど、様子が一変しました。本学でも、授業の開始時期が緊急事態宣言前は4月20日でしたが、発出後は5月7日と再延期されました。

現在の願いは、我が国及び世界で新型コロナウイルス感染症が収束し、これまでのような日常生活を取り戻すことです。さらに、キャンパスが学生であふれ、正常な教育活動が展開できることです。

そして、次年度こそは本学で全国大会が無事実施できるよう、祈るばかりです。その際は、ぜひ二年間の研究の成果を発表いただきたいと思います。

皆さまの健康をお祈りするとともに、次年度、岩手県にお越しいただくことを、心より願っております。

令和2年4月20日

残雪の残る岩手山を仰ぎつつ 岩手大学 鈴木久米男